

生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻博士課程（前期課程）

アドミッション・ポリシー

医工学・医情報学専攻博士課程（前期課程）では、生命科学を中心にした、医工学ならびに医情報学の専門的な知識や技術について、生体情報の正確な計測と生体機能の工学的具現化に関する研究や機械・材料工学の医療応用に関する研究を通して、医学・医療や工学を基盤にした総合的な研究能力を身につけて、医療技術産業のみならず幅広い産業分野でその基幹を支えて活躍できる中核的技術者、研究者を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

医工学・医情報学専攻博士課程（前期課程）の求める学生像

1. 医工学ならびに医情報学に関する基礎知識と技術を身につけている学生を求めています。
2. 医工学ならびに医情報学の知識と技術を運用し、新たな解決方法を創出するために、キャリアを通じて継続的に学び続ける意思のある学生を求めています。
3. グローバルな視点を有し、自ら解決課題を見出し、必要に応じて他者と協働して解決に導く意思のある学生を求めています。

医工学・医情報学専攻博士課程（前期課程）の入学までに身につけてほしいこと

1. 医工学コースでは、専門基礎科目としての「数学（代数学、微分積分学）」と「力学」に関する知識を身につけるとともに、専門応用科目としての「制御工学」「材料力学」に関する知識を有していることが望まれます。
2. 医情報学コースでは、専門科目としての「生命科学（数学・物理・化学）」、「電気回路」、「情報（プログラミング・情報処理）」に関する知識を有していることが望まれます。
3. 両コースを通して、医工学ならびに医情報学に関する基礎知識を習得しており、専門分野における課題や解決する方法を見出すとともに、広く情報を発信する方法論を経験していることが望まれます。
4. 両コースを通して、自らの専門分野に関する英語論文の理解や、英語によるコミュニケーションに取り組むことができる姿勢を身につけていることが望まれます。

入学者選抜制度

医工学および医情報学の知識および技術を運用することによって、人が豊かに暮らせる社会の実現や問題解決を目指して本専攻で学ぶためには、医工学および医情報学に関する基礎知識を習得していることが必要となります。医工学および医情報学の基礎知識の理解度

を評価するために、医工学コースでは、専門基礎科目「数学（代数学、微分積分学）」、「力学」、専門応用科目「制御工学」、「材料力学」、医情報学コースでは専門科目「生命科学（数学・物理・化学）」、「電気回路」、「情報（プログラミング・情報処理）」に関する筆記試験を実施します。また、面接（口頭試問を含む）、研究概要を通して、専門的な知識やスキルを習得するために必要となる、学習能力や論理的な思考能力、研究課題に対する姿勢を評価します。筆記試験、面接（口頭試問を含む）、および研究概要の内容から、可否を判定します。また学部での成績が顕著な場合は、それを持って、基礎的事項の理解が十分であるとみなす場合もあります。

生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻博士課程（後期課程）

アドミッション・ポリシー

医工学・医情報学専攻博士課程（後期課程）では、生命科学を中心にした医工学ならびに医情報学の知識や技術について関連する研究を行い、最終的に自ら研究すべきテーマを見出し、解決できる人材を育成したいと考えています。

基幹産業分野で次世代を先導する技術者として、あるいは大学や各種研究機関において医学・医療技術および生命科学研究を先導する研究者としてのキャリアを歩めるよう、次のような学生を求めています。

医工学・医情報学専攻博士課程（後期課程）の求める学生像

1. 医工学ならびに医情報学の先端研究に関連する先進的な諸分野（機械系・電気系・情報系・生命系）に関する確かな学力と専門的な技術を習得するために必要な基礎的知識や技能を有する学生を求めています。
2. 医工学ならびに医情報学の分野で現時点で解決されていない研究課題、技術課題を、ロジカルな思考、情報収集に基づき、研究を推進し自ら課題を解決できることを望む学生を求めています。
3. 医学・医療や工学の分野における社会や市場のニーズを自ら見出し、他者との協働研究などを通じて解決する人材となる意思を有する学生を求めています。

医工学・医情報学専攻博士課程（後期課程）の入学までに身につけてほしいこと

1. 自ら対象とする分野における高度かつ体系的な専門知識と技術を習得し、それを駆使して問題解決に対する方法論を提案できる応用力を身につけている、あるいは身につけるよう努力していることが望まれます。
2. 自ら対象とする分野における専門知識と技術を用いて、問題解決の道筋とその有用性を論理的思考に基づき他者に適切に伝えることができる情報発信力を身につけている、あるいはそれを強く意識して行動することが望まれます。
3. 多様な学術的視点や価値観を持ち、また専門分野において英語による情報収集やプレゼンテーションができる語学運用能力を持っているか、持てるように努力できる姿勢を身につけていることが望まれます。

入学者選抜制度

関係論文、面接（口頭試問を含む）を通して、自ら課題を発見し解決に導く研究者、技術者となりうる資質を有するかを評価します。具体的には、高度な研究を実践するための専門知識やスキル、独創性や課題解決能力、コミュニケーション能力を、関係論文、面接（口頭試問を含む）を通じて合否を判定します。